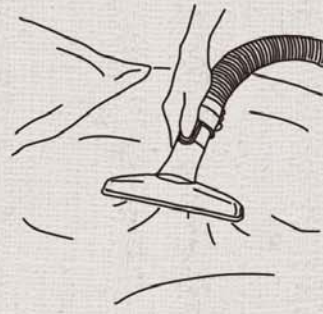


「そろそろ、ですよ！」

季節を安心して楽しむメンテナンス情報を
マリモコミュニティからお届けします。



気になる布団のダニ ひと手間かけた 正しいお手入れで一掃！

温かさと湿気を好むダニは、夏の間繁殖します。そして秋になる頃には、ダニの死骸やフンが室内や布団の中に多くたまっていきます。秋こそ、徹底したダニ対策が必要な季節なのです。

基本はこまめな天日干し
シーツなどのカバー類は週に一度は洗濯し、布団そのものも、できるだけこまめに天日干しします。午前中から午後早めの湿度が低い時間を選び、途中で布団を裏返して両面を日に当てましょう。干すことによつて布団にこもった湿気がとり除かれるため、ダニの繁殖を抑えることができます。とり込むときは布団をたたかず、表面を軽く手で払ってホコリなどを落とします。

干した後に掃除機がけを
布団をとり込んだら両面に掃除機をかけ、ダニの死骸やフンを吸いとりまします。片面に2〜3分ずつかけるつもりで、ゆっくりと掃除機を動かしましょう。天日干しが難しいベッドマットレスも掃除機でお手入れを。こまめに裏返したり、壁に立てかけて風を通したりすることも大切です。

布団乾燥機も上手に利用
天日干しが難しい場合は、布団乾燥機がおすすすめ。機種にもよりますが、布団乾燥機は温風で布団を50〜60度ほどまで温めるので、高温に弱いダニを死滅させる効果が期待できます。乾燥を終えたら、天日干しの後と同様に掃除機がけを。

衣替えのついでに！ 押入れ&クローゼットの カビ対策を

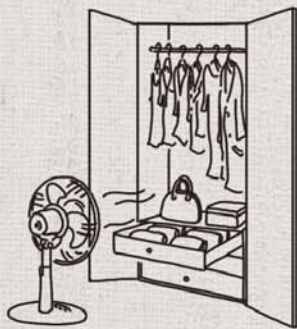
押入れ&クローゼットは湿度がたまりやすい場所。一年を通してカビ対策を心がける必要があります。

カビが発生する理由

カビは室温20〜30度、湿度70〜80%ほどの環境を好みます。押入れやクローゼットは閉めきつていることが多いもの。また、ものがたくさん入っているほど、空気が循環しにくくなります。狭いスペースに湿気を含んだ空気がこもることが、カビの原因になります。

予防の基本は換気

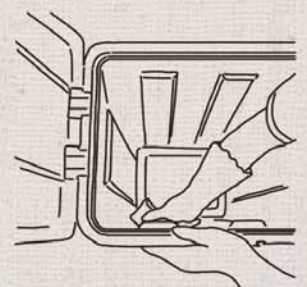
日ごろから、掃除の際などには押入れやクローゼットの扉を開けて風を通すようにしましょう。とくに暖房器具を使うことが増えるこ



れからの季節は、室内の湿度が高くなりがち。閉めきつた押し入れなどの中で結露が起こり、そこからカビが発生することもあるので要注意です。衣替えなどの際は、しっかりと換気をするチャンス。しまっておいたものをとり出した後、扇風機などで、しっかりと奥まで風を送っておきましょう。

カビが生えてしまったら

押入れなどにカビを発見したら、しまつてあるものをすべてとり出し、ドライタイアップのフローリングシートでカビの部分を拭いて胞子をできるだけ取り除きましょう。その後、アルコール除菌剤をつけたキッチンペーパーや布で押入れの内部全体を拭いておきます。



ごみ箱も カビ&ニオイを しっかりと予防

生ごみを捨てるキッチンのごみ箱には、汚れもたまりがち。お掃除の際は、ごみ箱のケアも忘れずに！

基本は水拭き+除菌

丸洗いが可能なサイズのごみ箱なら、中性洗剤で洗うのがいちばん。大きなものなら、水拭きで汚れを落とします。その後、全体にアルコール除菌剤をスプレーし、自然乾燥させましょう。

カビは塩素系漂白剤で

黒カビなどが生えている場合は、薄めた塩素系漂白剤でカビを拭きとります。細かい部分は、古い歯ブラシなどで軽くこすり、乾いたキッチンペーパーで拭きとりましょう。その後、全体を水拭きし、乾燥させます。